

施工マニュアル
【安震丸型治具】



■使用する製品

安震丸型治具(M12/M16) 素材：ステンレス	安震土手代替芯材 丸型	安震V3 60φ	専用接着剤 安震アイバ 安震アイバ専用ノズル

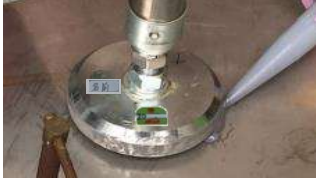




必ず、別紙「■施工前の事前準備」を事前に確認し作業を行って下さい。

(※施工『取り付け』に進む前に、対象設備に治具を施工する空間を作る為に持ち上げ作業が必要です)




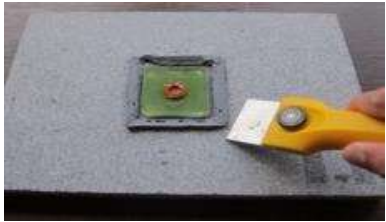
■施工『取り付け』

	手 順	ポイント
事前作業	 △施工箇所の“汚れ”を取り除く …「アセトン剤」を使用しウエス等で拭取り △施工箇所/治具裏面の“脱脂”を行う …「パーツクリーナー」等を使用しウエス等で拭取り △「安震アイバ」を①～③の手順でコーキングガンにセットする。 ①本体のノズル差し込み口内側を先端の尖ったもので穴をあける ②ノズルを本体に装着 ③ノズル先端をはさみ等でカット	
1	 既存の脚を取り外す 対象設備の既存の脚を取り外す。	
2	 「安震V3」、芯材の貼付け 「安震V3 60φ」のフラット面を治具の裏面に貼りつけ、その外側に「安震土手代替芯材 丸型」を装着します。 ※「安震V3」添付の“使用方法”を必ずご確認ください。	 治具裏面には、「安震V3 60φ」を貼る目安線があります。
3	 「安震アイバ」を薄く塗る 「安震V3 60φ」に「安震土手代替芯材」の高さを超えない程度に塗布する。 ⇒「安震アイバ」が潤滑油の役割をし、位置の微調整が可能となります。 「安震アイバ」が付着した「安震V3」の再利用は出来ません。	【施工ワンポイントアドバイス】 ◆「安震アイバ」の塗布が簡単！ (手順) ①カムテープ等、数本重ねる ②空洞に左図の様に固定 ③安定して塗布が可能！
4	 対象設備への取り付け 施工する位置決めをし、設備の脚に取り付け持ち上げている設備をゆっくりと下ろす。	◆工数削減！ …事前に、“5.「安震アイバ」の注入”を行う (手順) ①“3.「安震アイバ」を薄く…”と併せて治具裏面ゲル周り塗布(左図参照) ②“6.仕上げ”作業へ

安震アジャスター

	手 順		ポイント
5		「安震アイバ」の注入 設備を下ろした後、コーキングガンを一定の力で押し、治具の底面横からはみ出る位に注入する。 ※注入する場所：床と治具の間	【「安震アイバ」使用量の目安】 ●1本あたり ⇒ 約10セット ●治具1個に対して⇒30ml/個
	△設備に治具が隠れ、注入出来ない箇所がある場合は・・・ 	 “4.対象設備への取り付け”の際、隠れてしまう箇所に「安震アイバ」を塗布しておく。	
6		仕上げ はみ出た「安震アイバ」をヘラ等を使ってならします。	ならした後、隙間がある場合は「安震アイバ」を再度、注入してください。隙間があると硬化後、隙間が広がり、効果が低下する恐れがあります。
7		施工完了	【「安震アイバ」の養生目安時間】 ◎4~9月の場合：48時間 ◎10~3月の場合：96時間 をお勧めしております。 「安震アイバ」が完全に硬化するには、約96時間程度必要となります。

■施工『取り外し』・・・別紙、「施工マニュアル【取り外し】」にて準備品等の詳細をご確認下さい。

	手 順	ポイント	
1	 ①  ②	①“カッター”等の鋭利な先で塗布されている「安震アイバ」に手の届く範囲で切込みを入れる。 ⇒切り込み目安：全体の1/2以上 ②“モンキーレンチ”等で治具のナット部分を掴み、矢印方向に回転又は捻って治具を取り外す。	 ↑回転して取り外した状態
2		治具取り外し後、ゲルは手で優しく引張ります。 施工箇所や治具に残った「安震アイバ」は“スクレーパー”等で取り除きます。	取り外し後、治具に付着した「安震アイバ」は『アセトン』を使用する事で処理が可能です。 ※参照： 施工マニュアル【取り外し】—◆「安震アイバ」を簡単に取り外すには・・・

・施工後の耐久年数20年、但し振動する設備での耐久年数は、設備振動により異なります。

作成日：2022/4/1

・床面の設置について疑問な点などございましたら、安震にお問い合わせ下さい。

・【検品証】がある物が『安震アジャスターの証』です。無い物に関しての不具合は弊社では対応出来かねます。



※HP内動画
「施工マニュアル一覧」